

平成26年度（事故繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	138 航空機整備基地整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-ア 第3章-3-(4)-ア				
担当部課名	商工労働部 企業立地推進課	事業実施（予定）年度	平成 25 ～ 30 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(3)		
事業内容	那覇空港に航空機整備事業用の格納庫施設等を整備することにより、航空機整備産業の誘致を図るとともに、同産業に関連する企業の集積を促進し、航空関連産業クラスターの形成を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		25年度	26年度	26年度（繰越）	26年度（事故繰越）	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	122,995	—	4,595,106	2,705,190	0
		(b) 予算現額	71,000	—	4,595,106	2,705,190	0
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 51,995	—	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	71,000	—	4,595,106	2,705,190	0
	B. 執行済額		67,387	—	537,516	2,704,790	0
		うち交付金充当額	53,909	—	0	2,163,832	0
		C. 次年度繰越額	0	—	2,705,190	0	0
	執行率 (%) (B/A)		94.9%	—	11.7%	100.0%	—
予算の状況の説明	・予算額は関係機関との調整に必要な旅費、航空機整備施設の建設用地の使用料及び工事監理費を計上した。 ・予算を繰越すこととなった主な原因は、平成28年3月～5月にかけて断続的に自衛隊管理地内への立ち入り制限があったことや、建設予定地の一部から「フッ素及びその化合物」が検出されたことに伴って、那覇市との協議に時間を要したこと等により事故繰越しすることとなった。 ・事故繰越した事業費は平成28年度に全額執行し完了している。						
活動目標（指標）及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	実施設計の完了	目標	基本計画策定 基本設計策定	実施設計策定 造成設計策定	-		
		実績	基本計画策定 基本設計策定	実施設計策定 造成設計策定	-		
	造成工事及び本体工事に着手する。	目標		工事着手	-		
		実績		工事着手	-		
達成状況説明	・平成28年3月～5月にかけて断続的に自衛隊管理地内への立ち入り制限があったことや、建設予定地の一部から「フッ素及びその化合物」が検出されたことに伴って、那覇市との協議に時間を要したこと等により事故繰越しすることとなった。 ・「実施設計の完了」はH26年度に完了することができた。 ・「造成工事及び本体工事に着手する」については、H28年度内に工事着手することができ目標を達成することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（39年度）
	実施設計の完了	目標		基本計画策定 基本設計策定	実施設計策定 造成設計策定		
		実績		基本計画策定 基本設計策定	実施設計策定 造成設計策定		供用開始から10年目の効果経済波及効果 →291億円 雇用効果 →1,971人
	造成工事等の敷地整備の完了	目標			整備完了	-	
		実績			整備完了	-	
	進捗状況説明	平成26年の沖振法施行令の改正により、国際物流産業集積地域内で税の優遇措置の適用対象業種として、新たに航空機整備事業が追加された。 ・航空機整備施設供用開始から10年目において、航空機整備産業クラスター形成における経済波及効果291億円、雇用効果1,971人と推計している。 ・成果目標である「実施設計の完了」「造成工事等の敷地整備の完了」については、実施設計をH26年度に完了したものの、造成工事等の敷地整備については、各関係機関との協議等に時間を要したことからH26年度には着手できず、H27年度末に着手し、H28年度まで予算を繰越して実施した。 ・一部でH29年度まで造成を行う工事が残ったものの、H28年度中に造成工事が進捗し本体基礎工事等に着手することができた。					

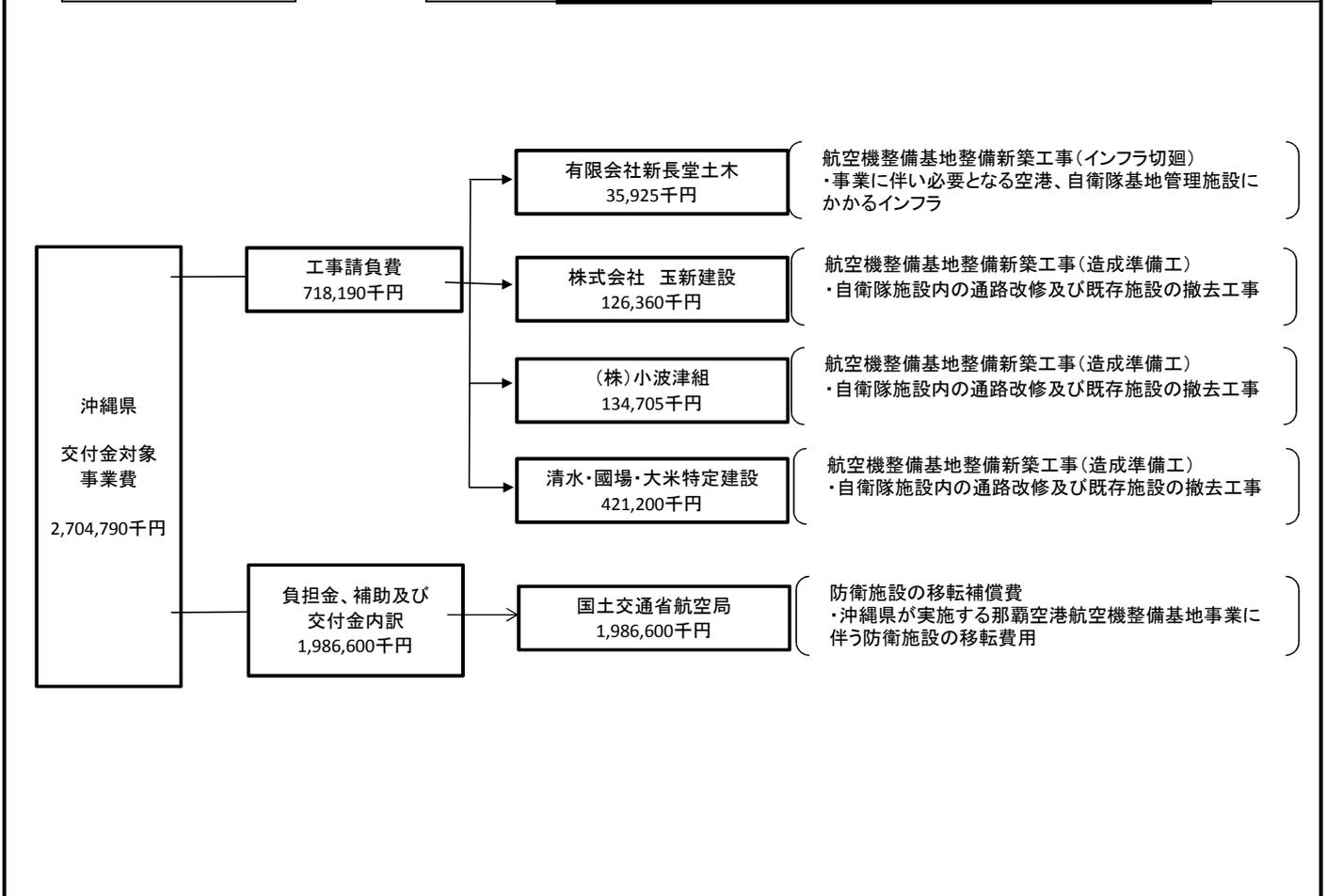
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 航空機関連産業クラスターの形成により、経済効果を発揮していくためには、関連企業調査等を行い、その結果を踏まえて産業クラスター形成のために必要な取組みを整理し、アクションプラン(素案)としてまとめる必要がある。 航空機整備施設の供用開始に向けては、造成工事の早期完了及び施設全面のエプロン工事を完成する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連企業の分析・誘致方法に向けたアクションプラン(素案)の策定、航空機整備から派生する県内製造業企業とのマッチングのあり方などについての検証を行う。 航空機整備施設に関連する工事の早期完了に向けて、国との情報共有を図りながら、工程調整を行っていく。

今後の取り組み方針

- 航空機整備産業クラスター形成に向けた先進事例、関連企業との意見交換、マッチング等の調査、有識者からなる委員会にて検証し、アクションプラン(素案)を策定するなど具体的な戦略等を整理していく。
- 航空機整備施設については、アジアの旺盛な航空機需要を取り込めるよう、質の高い施設整備に取り組む。
- 航空機整備施設及び関連工事の工程調整会議を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
平成28年度事故繰越	2,704,790	2,704,790	2,163,832	540,958	0	0	0



資金の流れの点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計、調査、監理業務における事業者は航空機整備施設の実績、知識及び関係機関との協議状況を熟知した者であり、同設計業務等を予定とおり完成させた。 ○使用料、工事請負費は事業目的達成の観点から必要なものであり、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成26年度（事故繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

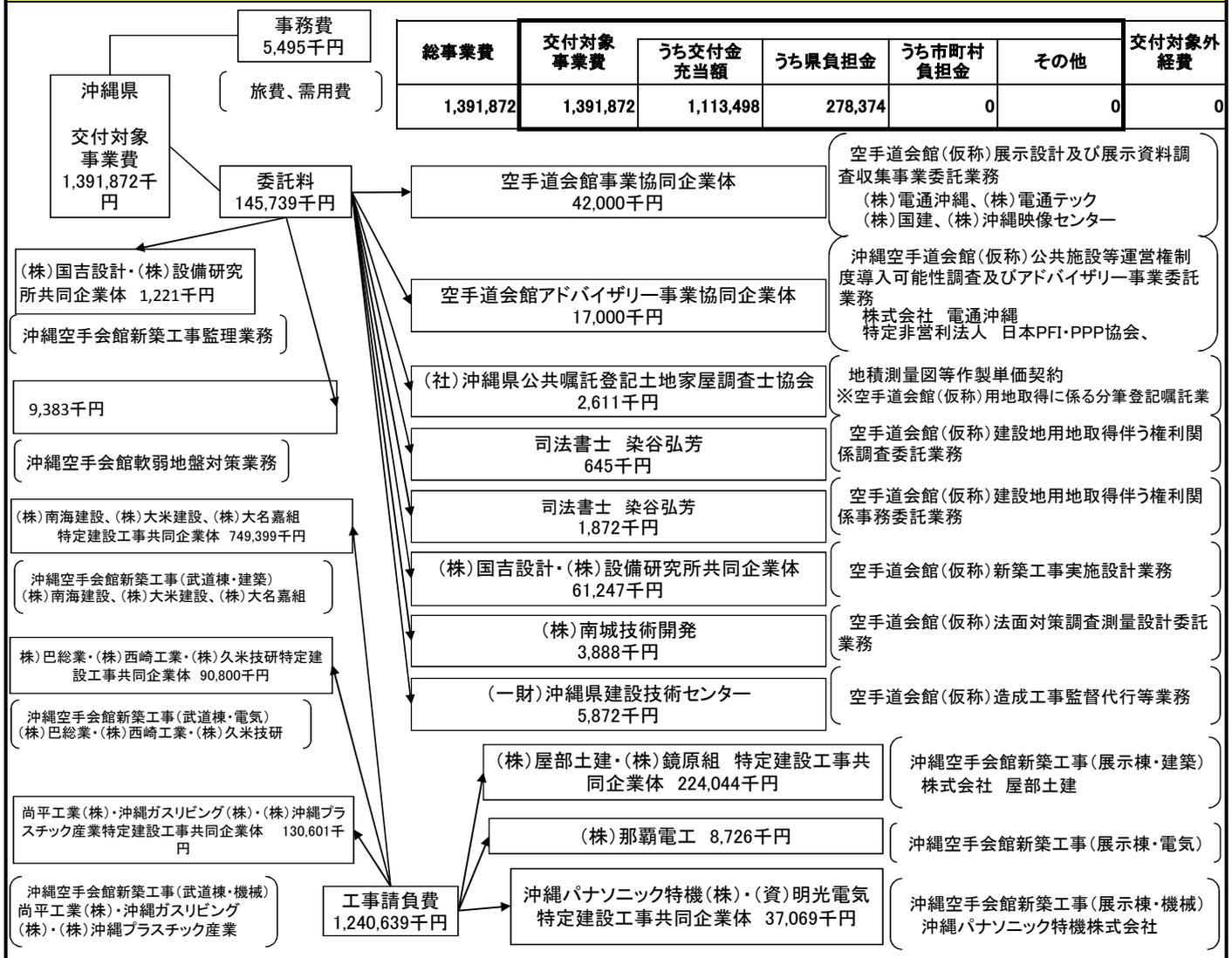
事業番号・事業名	206	空手道会館（仮称）建設事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-エ		
担当部課名	文化観光スポーツ部	空手振興課	事業実施 （予定）年度	平成 26 ～ 28 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化の発信・交流 Ⅲ-3-(2)	
事業内容	沖縄を発祥の地とする沖縄伝統空手を、独自の文化遺産として保存・継承・発展させるための拠点として、沖縄空手会館を建設する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事請負費）						
予算額・執行額 【単位：千円】		25年度	26年度	26年度（繰越）	26年度（事故繰越）	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0	—	1,408,000	0	0
		(b) 予算現額	0	—	1,408,000	0	0
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	0	332,500	—
		A. 計 (b+d)	0	—	1,408,000	332,500	0
	執行率 (%) (B/A)	B. 執行済額	0	—	1,073,961	317,911	0
		うち交付金充当額	0	—	859,169	254,329	0
		C. 次年度繰越額	0	—	332,500	0	0
	予算の状況の説明	平成26年度当初は、11月着工・平成27年度完成を予定していたが、敷地内の共有地に係る所有権移転作業等に時間を要したことから、工事契約の着手が遅れ、平成27年度に繰り越した。施設の一部（展示棟）については、平成27年度予算と合わせて平成27年度中の工事完了を目指してきたが、防空壕や不発弾処理に係る工事中断等に不測の日数を要したため、年度内に工事完了出来ず、平成27年度予算を平成28年度に繰り越した。武道棟・特別道場については平成27年度、平成28年度予算と合わせて整備を進めており、施設全体として平成29年3月に供用開始した。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H26活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	空手道会館（仮称）実施設計の実施	目標			実施		
		実績			実施		
	空手道会館（仮称）本体工事の着手	目標			工事着手		
		実績			工事着手		
	空手道会館（仮称）展示設計及び展示資料調査収集事業委託業務	目標			実施		
		実績			実施		
	空手道会館（仮称）公共施設等運営権制度導入可能性調査及びアドバイザー事業委託業務	目標			実施		
		実績			実施		
達成状況説明	空手道会館（仮称）新築工事実施設計業務委託を実施、完了した。 空手道会館新築工事（展示棟）に着手した。 空手道会館（仮称）展示設計及び展示資料委託を実施し、完了した。 沖縄空手道会館（仮称）公共施設等運営権青銅導入可能性調査及びアドバイザー事業委託業務を実施し、完了した。						
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H26成果目標（指標）		基準値	25年度	26年度	27年度	目標値
	空手道会館（仮称）実施設計の完了	目標	—		実施設計の完了		
		実績	—		実施設計の完了		
	空手道会館（仮称）本体工事の着手	目標	—		本体工事の着手		
		実績	—		本体工事の着手		
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計を完了し、工事着手しており目標を達成している。 工事については、用地取得の手續きに時間を要したことから、当初予定していた11月着手が困難となった。 建設予定地内にある沖縄電力所有の送電鉄塔移設に伴う建物の配置見直しに時間を要したため、実施設計が遅れたことや、用地内にある前所有者の物件撤去の遅れから、本体工事の開始が遅れた。当初は展示棟、武道場棟を同時に工事を行う予定であったが、武道棟工事は5億円を超える契約となることから、平成27年6月議会の議決を経て同年7月に契約した。展示棟工事は3月に先行して契約した。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
<p>取組の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25～26年度に渡り用地取得手続きに時間を要したことから、当初、平成27年度完成を予定していたが、平成29年3月に供用開始となった。 当事業は、市道整備や文化財調査について、豊見城市と随時調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の供用開始までタイトなスケジュールのため、随時、進捗状況を確認し、会館完成までのスケジュール管理及び関係機関との調整を密に行う。

今後の取り組み方針

- 空手会館外構工事に一部、工事の遅れが生じているので、工程の進捗を確認し、スケジュール管理を密に行う必要がある。
- 建物の建築工事は平成28年度内に完了したが、当初予定より遅れがあったことから、現場調整の上購入を予定していた一部備品についても、引き続き早急に購入を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、点検項目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者については、法令に基づき、競争入札で選定する他、これまでに取得したデータ、蓄積されたノウハウ、業務への習熟度の信頼関係等を最も有効的に活用できる事業については公募形式で業者選定を行った。工事請負費についても競争入札で選定した。○委託業務についても、契約額の範囲内で事業目的や委託仕様書に合致した成果物が完成しており、適切に実施されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	